令和５年 10 月

令和５年夏期における水難事故の概況

（令和５年７月～８月）

静 岡 県 警 察 本 部

地 域 部 地 域 課

1　静岡県における夏期（７月１日～８月 31 日）の水難事故発生状況

(1)　統計資料等

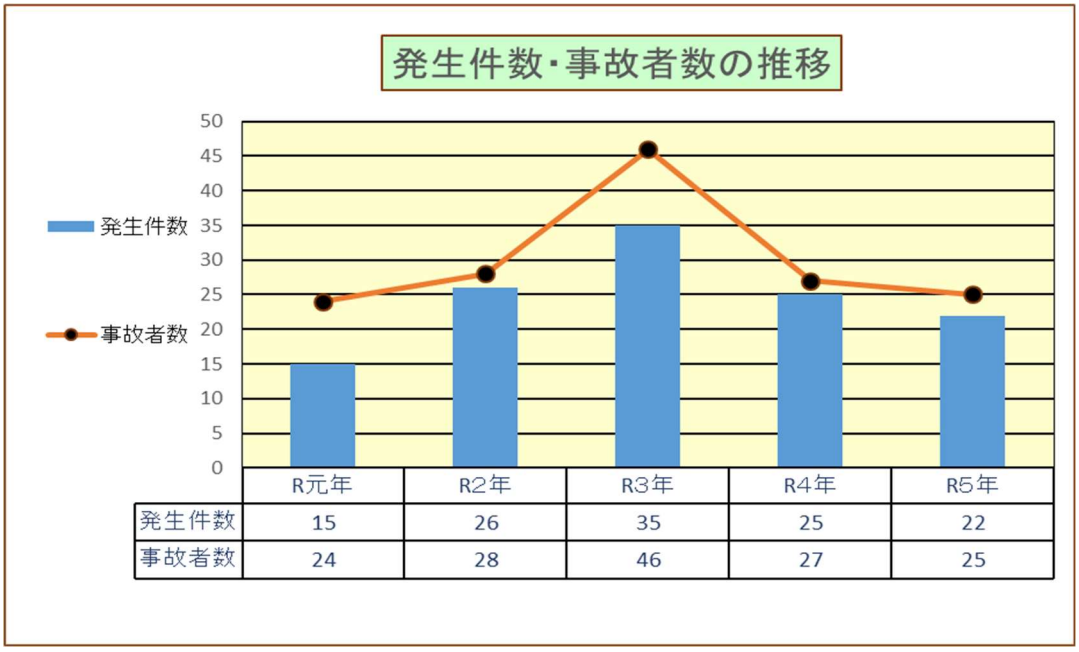
ア　発生件数等

区分		発生件数（件）	事故者数（人）	死亡	行方不明	負　傷	無事救出
県下全体		22　(−3)	25　(−2)	6　(−3)	0　(±0)	5　(+1)	14　(±0)
内訳	海	20　(+2)	23　(+3)	5　(−2)	0　(±0)	4　(±0)	14　(+5)
	河川	1　(−6)	1　(−6)	1　(−1)	0　(±0)	0　(±0)	0　(−5)
	湖沼池	1　(+1)	1　(+1)	0　(±0)	0　(±0)	1　(+1)	0　(±0)

※　括弧内は前年同期比

イ　過去５年の発生状況（過去５年）

区分	発生件数（件）	事故者（人） 総　数	死　亡	行方不明	負　傷	無事救出
令和元年	15	24	8	0	3	13
令和2年	26	28	9	0	6	13
令和3年	35	46	10	2	17	17
令和4年	25	27	9	0	4	14
令和5年	22	25	6	0	5	14



ウ　年齢層別発生状況

区分	事故者数					発生場所別（人）		
	（人）	死亡	行方不明	負傷者	無事救出	海	河川	湖沼池
子供	3	1	0	0	2	3	0	0
未就学児童	1	0	0	0	1	1	0	0
小学生	1	1	0	0	0	1	0	0
中学生	1	0	0	0	1	1	0	0
高校生又はこれに相当する年齢の者	0	0	0	0	0	0	0	0
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	19	3	0	5	11	18	0	1
65歳以上の者	3	2	0	0	1	2	1	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	25	6	0	5	14	23	1	1

エ　場所別発生状況

区　分	発生件数（件）	事故者数				
		（人）	死亡	行方不明	負傷者	無事救出
合　　計	22	25	6	0	5	14
	(3)	(3)	(1)	(0)	(0)	(2)
海	20	23	5	0	4	14
	(3)	(3)	(1)	(0)	(0)	(2)
海水浴場	5	5	0	0	0	5
	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)
その他の海	15	18	5	0	4	9
	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)
河　　川	1	1	1	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
湖沼池・その他	1	1	0	0	1	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

※　下段括弧内は中学生以下の内数

オ　行為別発生状況

区分	発生件数(件)	事故者数					発生場所別(人)			
		(人)	死亡	行方不明	負傷者	無事救出	海	うち海水浴場	河川	湖沼池
合　計	22	25	6	0	5	14	23	5	1	1
水　泳	4	4	1	0	0	3	4	2	0	0
水　遊　び	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0
魚とり・釣り	5	6	2	0	2	2	5	0	1	0
作　業　中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通　行　中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ　の　他	12	14	3	0	3	8	13	2	0	1
陸上遊戯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボート遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難救出中	2	2	0	0	0	2	2	1	0	0
シュノーケリング	3	5	1	0	1	3	5	0	0	0
スキューバダイビング	3	3	0	0	1	2	3	1	0	0
サーフィン	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0
その他	2	2	2	0	0	0	2	0	0	0
不明	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1

カ　居住地別発生状況

区分	事故者数				
	(　人　)	死亡	不明	負傷者	無事救出
合　計	25	6	0	5	14
静岡県	6	2	0	1	3
県　外	19	4	0	4	11
国　外	0	0	0	0	0
不　明	0	0	0	0	0

(2)　特徴

○　発生件数・事故者数ともに前年同期よりも減少

○　年齢別では、18 歳以上 65 歳未満の者が全体の約８割

○　場所別の事故者数は、海での発生が全体の約９割

○　行為別の事故者数は、魚とり・釣り、水泳、水遊び中の発生が合わせて全体の約４割

○　居住地別では、県内者が全体の約８割

２　水難事故の防止対策

(1) 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水(海)藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所などの危険箇所を事前に把握して、近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

(2) 的確な状況判断

風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているときなど、河川が増水するおそれが高いときには、釣りや遊泳、中洲や河原でのバーベキューなどを行わない。

海においては、天候の変化や波の高さに注意を払い、海岸の地形や沖合で台風が発生している場合など、離岸流や高波が発生するおそれが高いときは、海に入らない。

また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

(3) ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、落水した場合に備え、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

(4) 遊泳時の安全確保

- 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らない。
- 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- 遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
- 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。

(5) 保護者等の付添い

子供の水難事故防止のため、子供だけでは水遊び等をさせず、幼児や泳げない児童等には、必ずライフジャケットを着用させ、保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

(6) 体調状態の把握

日頃から健康管理を行い、少しでも体調不良があれば、遊泳等を控えるとともに、水辺に近づかない。